

授業科目名 (英文名)	財政学 (経済学部・専門教育科目) (Public Finance)	科目区分 対象学生	
単位数	4.0	開講年次・ 学期	
担当教員	渡邊 高広	所属	非常勤講師
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>講義目的 政府の経済活動の基礎知識について、制度・理論両面から学ぶ。</p> <p>達成目標 1. 現実の財政の基礎知識と、政府の経済活動の理論的な基礎を習得すること。 2. ミクロ経済学・マクロ経済学の分析ツールを、正しく使用できるようになること。</p>		
講義内容・授業計画	<p>I. 講義内容 当方が作成したスライドと板書で講義を行う。以下の授業計画は、講義の進捗状況等により変更することもありうる。</p> <p>II. 授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス・財政とは？ 2. 市場の失敗と政府の役割 3. 財政の仕組み(1) 4. 財政の仕組み(2) 5. 経済分析の基礎ツール 6. 市場と効率性 7. 外部性(1) 8. 外部性(2) 9. 外部性(3) 10. 外部性(4) 11. 公共財(1) 12. 公共財(2) 13. 公共財(3) 14. 公営企業と規制産業 15. 政府の失敗 16. 中間試験 17. 租税の基礎理論 18. 消費に対する課税 19. 所得に対する課税 20. 財政政策のマクロ経済効果(1) 21. 財政政策のマクロ経済効果(2) 22. 財政政策のマクロ経済効果(3) 23. 財政政策のマクロ経済効果(4) 24. 社会保障(1) 25. 社会保障(2) 26. 公的年金(1) 27. 公的年金(2) 28. 持続可能性と財政再建(1) 29. 持続可能性と財政再建(2) 30. まとめ 		
テキスト	『財政学をつかむ(新版)』畑農 鋭矢, 林 正義, 吉田 浩 有斐閣		
参考文献	適宜、講義内で紹介する。		
成績評価の基準・方法	中間試験40%、期末試験60%を基準とする。 レポートを課した場合は、期末試験に加点評価することもありうる。		
履修上の注意・履修要件	ミクロ経済学・マクロ経済学の基礎知識があることが望ましいが、学ぶ意欲のある学生を歓迎する。		

実践的教育	該当なし
備考	前期開講科目『地方財政論』を受講済みであると、本講義の内容も理解しやすいと思われるので、あわせて受講することをおすすめする。